

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】平成 17 年 6 月 23 日 (2005.6.23)

【公開番号】特開 2003-199714 (P2003-199714A)  
【公開日】平成 15 年 7 月 15 日 (2003.7.15)  
【出願番号】特願 2002-937 (P2002-937)  
【国際特許分類第 7 版】  
A 6 1 B 3/16  
【F I】  
A 6 1 B 3/16

【手続補正書】  
【提出日】平成 16 年 10 月 4 日 (2004.10.4)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 1 5  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0 0 1 5】

なお、眼圧値  $P_E 1$  は光量信号  $Q_s$  のピークが得られたときの圧力信号  $P_s$  から直接求めても良い。また、圧縮空気の吹き付け開始から光量信号  $Q_s$  のピークが得られるまでの時間によって求めることもできる。

【手続補正 2】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 2 2  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0 0 2 2】

また、圧縮空気の噴射の途中で睫毛が掛かると、圧平状態での光量信号  $Q_s$  のピークが検出されずに、眼圧値  $P_E 1$  が得られないことがある。この場合でも、角膜変形開始の段階を検出できれば測定値  $P_E 2$  が得られるので、測定エラーを少なくすることができる。したがって、測定の確実性を増すことができる。